

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和 7 年度)

(宛先)岡崎市長

令和 8 年 3 月 13 日

団体名 幸田シンフォニックバンド

代表者 鈴木 豊

構成員 48 人(※令和 8 年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

団員個々の研鑽により、より高い音楽的技術を追求し、地域社会の音楽文化の向上・発展に寄与することを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
5月 17 日	愛恵協会なか しば	岡崎市民等	約 1500 名	「あいけい春まつり」での演奏
11 月 8 日	岡崎市福岡 町 なのはな 苑	施設利用者	60 名	老人ホーム「なのはな苑」にて慰問 演奏
11 月 22 日	岡崎市舞木 町 愛恵協会	施設利用者お よび近隣市民	120 名	社会福祉施設「愛恵協会」にて慰問 演奏
3 月 1 日	幸田町民会 館	岡崎市民およ び近隣市町村 民	751 名	第 25 回定期演奏会

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。＜ex.自然環境＞

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

慰問演奏や地域イベントでの演奏活動を通じて、市民のみなさまに音楽の楽しさや感動を届けました。特に、障がい者施設での慰問演奏では心の癒しを提供し、地域イベントではまちの賑わいを創出しました。また、音楽文化の発展に貢献し、世代を超えた交流の場を生み出すことで、市民のつながりを深める一助となりました。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← (5) 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

私たちの活動は福祉的な側面が強く、多くの市民が無料で音楽を楽しめる機会も提供していることから、公共の利益に大きく貢献していると考えられます。